

第 2 期大分県スポーツ推進計画の骨子（案）

第 2 期 大 分 県 ス ポ ー ツ 推 進 計 画 の 構 成

第 1 編 (総論)

第 1 章 計画策定の趣旨

- 現行の大分県スポーツ推進計画（改訂版）における取組の成果・課題、策定後のスポーツ推進条例の策定やRWC2019日本大会大分開催等、本県のスポーツを取り巻く情勢を整理し、第2期大分県スポーツ推進計画を策定する目的・意義を記載
- 計画の期間（令和3年からの概ね10年間とし、5年を目途に中間見直しを行う）について明示
- 本計画におけるスポーツについて定義

第 2 章 スポーツの意義（力）

- スポーツの持つ力の内在的側面と外在的側面について考察し、スポーツによりもたらされる効果等（健康の増進、地域コミュニティの形成、絆の強い社会の構築等）を整理することで、スポーツ推進の意義を説明

第 3 章 基本理念・目指す姿

- 大分県のスポーツ推進に係る基本理念を提示するとともに、これを具体化した4つの基本目標（Ⅰ生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成、Ⅱ県民のスポーツを支える環境づくりの推進、Ⅲ世界に羽ばたく選手の育成、Ⅳスポーツによる地域の元気づくり）を整理し、目指すべき将来像を明示

第 2 編 (各論)

第 1 章 これからのスポーツの推進方策

- 4つの基本目標の達成に向け、これからの施策の基本的な方向性を示すとともに、これらを踏まえた具体的な取組内容を明確化（具体的な取組内容については、どのような施策効果を目指すのかと連動するかたちで整理）

第 2 章 計画推進のために

- 本計画で掲げた目標指標等について、現状を把握するとともに、計画についての評価等（進行管理）を実施することにより、今後の施策の拡充や見直し等に反映させていくことを明記
- 計画における各施策の推進が社会に及ぼす影響について整理

第2期大分県スポーツ推進計画の「基本理念」及び「基本目標」

基本理念

『県民総参加 スポーツ力を高め 明るく元気な大分の創造』

県民の誰もが、それぞれのライフステージ等に応じて、スポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を味わいながら、健康で活力ある生活を営むことができる

基本目標Ⅰ

生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成

今後の方向性

- ☞県民が心身の健康の保持・増進を図り、健康で活力に満ちた生活を送ることができるよう、ライフステージに応じたスポーツを推進する
- ☞障がいのある人や女性等これまでスポーツに関わりが少なかった人がスポーツに親しむことができるよう、参加機会の充実等を支援する
- ☞県民の誰もが身近な地域でスポーツに親しむことができるよう、総合型地域スポーツクラブの「質的充実」を支援する

基本目標Ⅱ

県民のスポーツを支える環境づくりの推進

今後の方向性

- ☞県民が多様なかたちでスポーツに親しむことができるよう、「みる」「ささえる」スポーツイベントの充実を図る
- ☞より多くの県民が日常的にスポーツに親しむことができるよう、スポーツの活動の場の充実を図る
- ☞多様化する県民のスポーツニーズに対応するため、スポーツ関係団体のガバナンス向上や、指導者の養成・確保等を図る

基本目標Ⅲ

世界に羽ばたく選手の育成

今後の方向性

- ☞ジュニア期からの効果的な選手の育成・強化を図るため、優れた資質を有するジュニア選手の発掘を図るとともに、一貫指導体制を確立する
- ☞国内外の大会において本県選手が活躍できるよう、優秀選手の育成・強化、指導者等の競技力を支える人材の養成を図る
- ☞優秀選手が、必要な支援・協力を得て競技活動に専念できるよう、競技力を支える環境整備を図る

基本目標Ⅳ

スポーツによる地域の元気づくり

今後の方向性

- ☞大規模スポーツイベントや事前キャンプの誘致に努め、地域との交流や情報発信により、地域経済の活性化に貢献する
- ☞県内プロチームやスポーツイベントなどの地域資源の活用により、県民のスポーツへの関心拡大と機運の醸成を図る
- ☞RWC2019の成果を着実に引き継いでいくことで、ラグビー文化の定着や国内外からの誘客等による地域活性化を図る

第 2 期 大 分 県 ス ポ ー ツ 推 進 計 画 に お け る 施 策 体 系

基本目標	分野別施策	施策(現計画)	具体的な取組	新規	発展
I 生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成					
1 ライフステージに応じたスポーツの推進					
(1) 幼児期・少年期におけるスポーツの推進 (健康・体力・人づくり)					
①幼児期から子どもの体力向上方策の推進					○
②学校における体育授業の充実 (学校体育の充実)					○
③運動部活動の充実					○
④スポーツ少年団等におけるスポーツ活動の充実 (子どもを取り巻く社会のスポーツ環境の充実)					○
⑤スポーツへの関わりが少ない子どもたちへの働きかけの推進				○	
⑥食育の充実					○
(2) 青年・壮年期におけるスポーツの推進 (健康・体力・人づくり)					
①職場におけるスポーツ活動の推進 (地域や職場におけるスポーツの推進)					○
②地域におけるスポーツ活動の推進 (地域や職場におけるスポーツの推進)					○
③これまでスポーツに関わってこなかった人への働きかけの推進				○	
④関係団体等と連携したスポーツ環境の整備・充実 (職場や関係機関等と連携した取組)					○
(3) 高齢期におけるスポーツの推進 (健康・体力・人づくり)					
①地域における高齢者の健康・体力づくりの推進 (高齢者の健康づくりの推進)					○
②指導者の養成とプログラムの普及					○
③これまでスポーツに関わってこなかった人への働きかけの推進				○	
④健康・体力づくりなどの情報提供					○
(4) ライフステージに応じたスポーツイベントの推進 (健康・体力・人づくり)					
①少年期のスポーツイベントの充実					○
②青・壮年期のスポーツイベントの充実					○
③高齢期のスポーツイベントの充実					○

基本目標	分野別施策	施策	具体的な取組	新規	発展			
I	生涯にわたってスポーツに親しむ機運の醸成	2	誰もが気軽に取り組めるスポーツの推進					
			(1) 障がい者スポーツの推進 (健康・体力・人づくり)					
			①障がい者のスポーツ機会の拡充		○			
			②障がい者スポーツの環境の整備		○			
			③障がい者のスポーツの競技力向上		○			
			④障がい者スポーツの優秀選手支援		○			
			(2) 女性のスポーツ活動の推進		○			
			①女性がスポーツに参画しやすい環境の整備		○			
			②スポーツ団体における女性役員の登用促進への支援		○			
			③女性の指導者の積極的な育成		○			
			3	総合型地域スポーツクラブの育成・支援・活用	(1) 総合型地域スポーツクラブの推進 (活動の場づくり)			
						①中間支援組織(広域スポーツセンター等)による総合型クラブの質的充実支援の推進		○
						②市町村等と連携したクラブの創設と活動エリアの拡大		○
						③総合型クラブおおいたネットワークとの連携		○
						④総合型クラブの自立と「登録・認証制度」への対応の推進		○
⑤地域の健康づくり拠点化の推進		○						
⑥「新しい公共」を担う総合型クラブの育成		○						

基本目標	分野別施策	施策	具体的な取組	新規	発展
Ⅱ 県民のスポーツを支える環境づくりの推進					
1 「みる」「ささえる」スポーツの充実					
(1) 「みる」「ささえる」スポーツの推進 (システムづくり)					
①RWC2019開催のレガシーの 継承 (創造)				○	
②世界・国内トップレベルの競技会の誘致と観戦促進					○
③子どもたちへの「みる」「 ささえる 」スポーツ機会の提供					○
④ 大会を支える審判員等の専門スタッフの育成				○	
⑤プロスポーツの推進					○
(2) スポーツボランティア活動の推進 (システムづくり)					
①スポーツボランティアの啓発					○
②スポーツボランティアの発掘と育成					○
③スポーツボランティアの活用					○
2 スポーツの活動の場の充実					
(1) 地域の特性を活かした活動の場の充実 (活動の場づくり)					
①豊かな自然を活かしたスポーツ活動の場の整備					○
②身近で取り組めるスポーツ活動の場の整備					○
③天然・自然環境を活用したスポーツプログラムの開発とその情報提供					○
(2) 学校スポーツ施設の充実と有効活用 (活動の場づくり)					
①学校体育施設・設備の整備・充実					○
②学校体育施設開放事業の推進					○
(3) スポーツ施設の整備・充実と支援体制の整備 (基盤づくり)					
①県立スポーツ施設の維持・整備					○
②スポーツ環境充実に向けた運営の推進					○
③支援体制の整備に向けた検討の推進					○

基本目標	分野別施策	施策	具体的な取組	新規	発展
Ⅱ 県民のスポーツを支える環境づくりの推進					
3 スポーツ支える組織や体制、仕組の充実					
(1) スポーツ情報の収集と提供 (システムづくり)					
①スポーツ情報システムの構築					○
②報道機関と連携した情報提供の充実					○
(2) 行政組織の連携とスポーツ関係団体の充実 (基盤づくり)					
①横断的なスポーツ推進体制の整備					○
②スポーツ関係団体のガバナンス向上の取組の推進				○	
③スポーツ関係団体の整備・充実					○
④スポーツ団体と連携した安心・安全なスポーツ体制の確保				○	
⑤研究機関・医療機関・大学との連携					○
(3) 企業スポーツの推進 (システムづくり)					
①スポーツ推進に向けた企業との連携・協力					○
②地域貢献活動の推進				○	
(4) スポーツに関する顕彰制度の充実 (システムづくり)					
①顕彰制度の充実					○
Ⅲ 世界に羽ばたく選手の育成 (健康・体力・人づくり：「競技力向上対策の推進」)					
(1) 競技力向上のための組織の整備・充実					
①競技団体や学校体育団体等の活性化				○	
②年代や競技の枠を越えて連携できる体制の整備				○	
(2) 競技力向上に向けた指導体制の充実・強化					
①公認指導者資格の取得を通じた指導者の育成と資質の向上				○	
②強化拠点となる学校への適切な指導者の配置				○	
③競技者から指導者への好循環サイクルの構築				○	

基本目標	分野別施策	施策	具体的な取組	新規	発展	
Ⅲ	世界に羽ばたく選手の育成	（健康・体力・人づくり：「競技力向上対策の推進」）				
		（３）競技力向上に向けた発掘・育成・強化の推進				
			①ジュニア世代を対象としたスポーツ体験機会の拡大	○		
			②関係団体と連携した一貫指導体制の構築	○		
			③関係団体と連携した強化事業の充実	○		
		（４）競技力向上に必要な諸条件の整備				
			①スポーツ医学の知見等を活用した支援体制の推進	○		
			②アスリートを支える家族等への支援の推進	○		
			③アスリートが継続的に活動できる就職支援の推進	○		
		Ⅳ	スポーツによる地域の元気づくり	（１）国際スポーツ大会の誘致		
	①大分スポーツ公園総合競技場等を活用した大規模大会の誘致			○		
	②国際大会の事前キャンプの誘致と受け入れ			○		
	③キャンプ受入国との継続的な交流の推進			○		
（２）スポーツ文化の定着とスポーツツーリズムの推進						
	①大規模イベントの観戦や県民参加機会の創出			○		
	②地域活性化に貢献する地域密着型プロスポーツへの支援			○		
	③市町村と連携した合宿チームへの支援と交流機会の拡大			○		
	④まちづくりや地域活性化の核となるスタジアムの実現			○		
	⑤スポーツツーリズムの推進			○		
（３）ラグビーワールドカップ2019のレガシー継承						
	①大分で試合を行った国・地域とのつながりを活かした取組の推進				○	
	②世界トップクラスの国際試合等の誘致				○	